





## 審査結果報告書

2020年2月4日

主査氏名 青山直善 

副査氏名 村雲芳樹 

副査氏名 西山和利 

副査氏名 山岡邦彦 

1. 申請者氏名 : DM16018 佐藤 俊允

2. 論文テーマ :  
Age- and gender-related differences in plaque composition of coronary lesions: an optical coherence tomography study  
(年齢の影響を考慮にいたした冠動脈プラークの男女差の検討)

3. 論文審査結果 :

冠動脈プラークの形態について、男女差を検討した論文はあるが、未だに明確な男女差を報告した論文はない。本論文は、高い分解能を有する光干渉断層撮影法（OCT）を用いて、冠動脈プラークの男女差について年齢を考慮に入れて検討したところ、70歳未満の女性では冠動脈に巨大石灰化が、70歳以上では薄被膜線維性粥腫が有意に男性より多く認められ、冠動脈プラーク形態の性差を初めて報告した論文となった。この報告は、女性の冠動脈プラーク形成の病因を検討する基礎データになるものであり、実臨床でも高齢女性にスタチンやエゼチミブ併用の必要性を配慮すべき根拠となるものである。また、Circulation Journalに採択されており、調査した症例数も豊富で、女性における冠動脈プラークの形成および治療や予防について、今後、大いに発展していく可能性がある論文である。論文審査における、質疑応答にも十分に対応できており、主査および全ての副査とも、学位論文としてふさわしい内容であると判断した。